

出雲崎町



7

No.542

令和4年7月6日発行

出雲崎町公民館

TEL 0258-78-2250

出雲崎町民体育館

TEL 0258-78-4700

公民館だより

7月号

良寛堂建立 100 周年記念 第 44 回全国良寛会出雲崎大会

今年、良寛堂が建立されてから 100 周年を迎えます。良寛堂は、良寛の遺徳を顕彰するために郷土史家 佐藤耐雪翁の発案により、大正 11 年 9 月 16 日に建立されました。その後、町へ寄贈され、昭和 27 年に良寛堂を含む一帯が新潟県の指定文化財となりました。

この節目の年を記念し、良寛堂についての記念てい談や企画展、史跡めぐり等、様々な行事を行います。皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。☎：全国良寛会出雲崎大会実行委員会

日時：10月1日（土）、2日（日） 会場：町民体育館

☎78-2250

○大会概要

【10月1日（土）】

良寛堂建立 100 周年記念 第 44 回全国良寛会
出雲崎大会

13:30～ 開会式

14:00～15:30 記念てい談

「良寛さんの思想と良寛堂」

- ・竹村 牧男 様（東洋大学前学長）
- ・長谷川 義明様（全国良寛会名誉会長）
- ・小島 正芳 様（全国良寛会会長）

15:35～16:15 歓迎アトラクション

- ・お船歌、出雲崎おけさ披露
- ・出雲崎小中学生の良寛学習（DVD 披露）
- ・良寛の和歌を取り入れた出雲崎小学校校歌斉唱

16:30～18:00 交流会（DVD 披露）

【10月2日（日）】良寛史跡めぐり

9:00～12:00 良寛記念館発着 マイクロバスで移動

良寛記念館発～蛇崩の丘・獄門跡～代官所跡～
 （四季彩小路）～（大黒屋宅）～耐雪家～光照寺～
 （京屋跡）～御用小路～（良寛逸話館）～旧新津邸～
 （堀部安兵衛居住跡）～（熊木家跡）～寄港地の町家～
 （稻荷神社）～妻入り会館（小休憩）～（泊屋）～
 （俳諧伝灯塚）～芭蕉園～（円明院）～（石井神社）～
 良寛堂～良寛記念館着（解説あり）

※（ ）内は歩きながらの説明となります。

企画展 「描かれた良寛堂」

会場：中央公民館講堂

期間：10月1日（土）～10日（月/祝）

おまちしています



絵手紙コンテスト作品募集をします

良寛堂建立 100 周年記念 第 44 回全国良寛会出雲崎大会を記念し、絵手紙コンテストの作品を募集します。テーマは、「良寛さまに伝えたいことを絵（良寛さま又は良寛堂）と言葉（毛筆体）で表現しよう」です。

募集期間は 8 月 28 日（日）までとなっており、入賞者には、賞品が授与されます。皆様からの応募をお待ちしております。

問い合わせ先：良寛記念館 ☎ 78-2370

7月31日（日）～8月2日（火）東京芸大生が来町します

7月31日（日）～8月2日（火）、東京芸大日本画科の院生が3年ぶりに出雲崎へやってきます。恒例の妻入りの街並みスケッチ画を描いていただくほか、8月2日（火）13:30から中央公民館 講堂にて、スケッチ画鑑賞会を行います。

芸大生の作品を見ることが出来る貴重な機会です。皆様のお越しをお待ちしております。

公民館 E-Mail : syakyou-k@town.izumozaki.niigata.jp

良寛記念館だより

良寛堂建立 100 周年記念『河内舟人展』～良寛を最も鮮やかに描いた日本画家～

令和 4 年 7 月 1 日（金）～令和 4 年 9 月 25 日（日）

良寛堂建立 100 周年を記念して、良寛に私淑し出雲崎町にもよく訪れた日本美術院院友の日本画家 河内舟人の展覧会です。昨年、舟人のご息女永子氏からご寄贈された河内舟人作品を初展示いたします。また、舟人妻で日本初の女流彫刻家河内滋子制作の「良寛禅師像」も初展示いたします。この機会に是非、ご観覧ください。

ギャラリートーク 7 月 23 日（土）11:00～11:30

妻入り会館だより

6 月 17 日（金）から『陶芸愛好者作品展』を開催しています。陶芸を愛する町内の方々のそれぞれの個性を生かした素晴らしい作品の数々です。どうぞお越しになってご覧ください。期間は 8 月 21 日（日）までです。また、併せて東京藝術大学院生のスケッチ画（平成元年頃の作品）の展示や漁師さんからお借りした大漁旗の展示を行っています。皆様のお越しをお待ちしています。



海岸公民館からのお知らせ

日頃より、海岸公民館のご利用ありがとうございます。参議院議員選挙の会場準備・選挙会場のため、下記の日時、海岸公民館を閉館します。

よろしく願います

ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力お願いいたします。



7/8（金） 17 時閉館、7/9（土）～7/10（日） 閉館



図書館

だより



【中央公民館】

【海岸公民館】

あきらめません/講談社…垣谷 美雨 著

閉鎖的な地域社会、男尊女卑…。定年退職を迎えた郁子の夢のセカンドライフは、夫の田舎への移住をきっかけに崩れていく。だが、ある日出会った銀髪の女性議員・市川ミサオの後押しで、なぜか市議会議員に立候補することに！？

百年厨房/小学館…村崎 なぎこ 著

宇都宮の旧家に独り住む大輔。ある日アヤという若い女が現れ、大正時代にここで働いていたと言う。友人は「タイムスリップだ！」と騒ぐが、大輔は信じない。だが、アヤが作った冷やしコーヒーは…。

競争の番人/GUARDIAN OF THE MARKET …新川 帆立 著

公正取引委員会の審査官・白熊楓とエリート審査官・小勝負勉は反発しあいながらも、ウェディング業界の価格カルテル調査に乗り出す。数々の妨害を越えて、市場を支配する巨悪を打ち倒せるか。

くるまの娘/河出書房新社…宇佐美 りん 著

車で祖母の葬儀に向かう、17 歳のかんこと家族。思い出の景色や車中泊の密なる空気が、家族のままならなさの根にあるものを引きずりだしていき…。

今月の一句



今月はお休みします。

〈小学生の俳句〉

てまり団地 本間 加津

初燕町に大事な

無人駅

川 西 遠藤 比呂女

更衣 ころもがえ

免許証の若き写真や

〈西乃越句会〉

乙 茂 金泉 今日子

大店の跡地を仕切る

井 鼻 細木 郵子

船足のさらに急かさる

短き夜

〈越後出雲崎 渚会〉

～みなさんの身近な情報をお寄せください～

「自由・自在・慈愛に生きた良寛」～今に生きる「良寛さん」特集②～

ゲスト：本間 ^{いさお} 勲さん（川西 在住）

2007年、茨城県から出雲崎町に移住し、その後、良寛記念館の事務局長、館長を歴任された、本間勲さんに、敬愛する良寛さんについて語っていただきました。



良寛さんに魅せられて移住

Q：北川省一著「良寛さばなしなら面白い」で良寛に出逢い、以来良寛探訪に専心して良寛に関連する著述を数多く出版され、良寛記念館の運営にもご尽力くださるようになった経緯をお聞かせください。

A：私が良寛に関心を抱いたのは、50歳の時に「良寛さばなしなら面白い」を読んでからです。当時の私は、産業機械の設計業務に従事していましたが、エンジニアといえども企業利益を求め一員としての毎日が続いていましたので、私とは全く違った悠々自適に似た良寛の生き様に触れて「おや！」と思いました。

北川氏の著書を読み進むにつれて、良寛は単に悠々自適に過ごしたのではなく、深い理念に基づいて生きていたことが分かりました。以降、その深い理念が知りたくて、良寛の名前の付いた本を探しては、読み漁るようになりました。

56歳で早期退社した後は、良寛探訪に専心し、良寛生誕の地出雲崎町の天領の里を訪れた時、「てまり団地のパンフレット」を手にし、てまり団地の入居者第一号となりました。

移住後、出雲崎町良寛景慕会に入会したことがご縁で、良寛記念館の事務局長、館長を務めさせていただきました。事務局長としては、良寛記念館の運営主体が、財団法人から町に切り替わる仕事にも携わりました。館長としては、運営主体が町となり、良寛記念館が新たな歩み始める時期に務めることができました。良寛の作品を通して、良寛の本質を他の良寛を敬慕される方々にお伝えする仕事に関わることができ、やりがいを感じました。

良寛さんの作品は 人生を学ぶための宝庫

Q：本間前館長さんにとって、良寛さんの魅力はどんなところですか。

A：良寛の没後百八十年を過ぎた今日でも、私たちは良寛の作品に接すると心が晴れやかになります。良寛の作品の根底には、厳しい仏道修行と、その後の優しい心で実践された菩薩行とが脈打っていることを、しっかりと認識しなければいけないと思います。ただ、作品の善し悪しではなく、その作品が生まれた背景と作品に込めた良寛の思いを知ることが大切です。

それによって、物にあふれた現代の世の中を生きる私たちは、自然環境を含めた物事の本当の在り方を見直し、自身の生き方をも問い直すヒントをつかむことができるのではないのでしょうか。

詩・歌・書に優れ、生涯無一物の僧として自由に、自在に生き、自然を愛し、生きとし生けるものに慈愛の心で接した良寛は、わが町の誇りであり、大切に伝えていきたい宝物です。

そして、自分の人生を考える時、優しい良寛さんの心に、身近で触れることができるのは、幸せなことだと思っています。

Q：本日はお時間を作っていただき、ありがとうございました。

町体だより



お申し込み・お問い合わせ
出雲崎町民体育館
TEL 0258-78-4700

バレーボール教室を開催いたしました

6月15日(水)町民体育館で小学生バレーボール教室を開催いたしました。コーチ陣が基本的な身振り構え方などの指導に対して、生徒は熱心に耳を傾けて一生懸命に練習に励んでいました。練習では、2人1組になりトスやアンダーハンドパスで相手にボールを返す練習などをしていました。バレーボール教室を通じて、バレーボールがより楽しく好きになってもらえるきっかけが提供できたら嬉しいです。



中学生がプール清掃を行いました

6月28日(火)に町民プールでプール清掃を行い、中学1年生の皆さんからお手伝いして頂きました。プールの底面・側面をデッキブラシやスポンジで磨きながら排水作業していました。ご協力のおかげで、1年間溜まっていた汚れもきれいに落ち、7月のプールオープンに間に合いそうです。今年も清掃作業にご協力して頂き誠にありがとうございました。ぜひ、きれいになったプールに泳ぎに来てください。お待ちしております。



出雲崎高等学校 全国大会出場おめでとうございます

【全国高等学校定時制通信制体育大会】

○バスケットボール女子チーム

(皆川佳菜、小池真璃愛、齋藤愛夢、齋藤心優、佐藤佳奈、田邊楓夏、田村藍里、平出愛聖)

○陸上競技… (男子 800m) 石川真緒 (県選抜リレーメンバー) 菊田光一

○卓球… (男子個人) 矢代暁太 (女子個人) 高橋 麗

○剣道… (女子個人、県選抜団体メンバー) 菫澤来夢

【全国高等学校総合文化祭東京大会】

○文芸部門

短歌：山崎 百萌花「机から スカイダイビング 消しゴムよ 着地ができず 行方不明に」

俳句：相場 皓太「友の顔 なやみふきとぶ 春の風」「花粉症 嫌われものも 生きるため」